



FERRIS

フェリス女学院大学大学院

- 人文科学研究科
- 国際交流研究科
- 音楽研究科

フェリス女学院大学大学院について

フェリス女学院は 1870 年、アメリカの改革派教会から派遣された女性宣教師メアリー・E.キダーによって、キリスト教精神に基づいた日本最初の近代的女子教育機関として創立されました。

以来約 150 年にわたる歴史を受け継ぐキリスト教を教育の基本方針となす本学の建学の理念に基づき、高度の専門の学術に関して、その研究方法、理念及び応用を教授研究し、文化の進展に寄与するとともに、人類の福祉と世界の平和に貢献する能力をもった人材を育成することを目的としています。

本大学院は、文系総合大学に置かれた大学院として、人文科学、音楽、国際交流の領域について高度な教育研究を展開するために、人文科学研究科、国際交流研究科、音楽研究科の 3 研究科を擁しています。

各研究科・専攻はいずれも、指導教授を中心とした個人指導体制を充実させ、学生の研究活動を積極的に支援しています。また、社会に開かれた学びの場として、経験豊かな社会人受け入れのための特別選抜制度も設けています。

研究科	専攻	課程	募集人員	取得できる資格	取得できる学位
人文科学研究科	英語英米文学専攻	博士前期課程	6	英語(中学校・高等学校教諭専修免許状)	修士(文学)
		博士後期課程	2	-	博士(文学)
	日本語日本文学専攻	博士前期課程	6	国語(中学校・高等学校教諭専修免許状)	修士(文学)
		博士後期課程	3	-	博士(文学)
	コミュニケーション学専攻	博士前期課程	6	専門社会調査士	修士(文学)
		博士後期課程	2		博士(文学)
国際交流研究科	国際交流専攻 [男女共学制大学院]	博士前期課程	6*	社会(中学校教諭専修免許状) 地理歴史・公民(高等学校教諭専修免許状)	修士 (国際交流)
		博士後期課程	2	-	博士 (国際交流)
音楽研究科	音楽芸術専攻	修士課程	6	音楽(中学校・高等学校教諭専修免許状)	修士(音楽)

※長期履修学生の募集人員は若干名

修業年限

修士課程		2年(4学期)
博士課程	博士前期課程	2年(4学期)[4年(8学期)]
	博士後期課程	3年(6学期)

[]は、国際交流研究科博士前期課程の長期履修学生の標準修業年限

修了要件

博士前期課程・修士課程

各専攻の修士課程又は博士前期課程に 2 年以上在学し、所定の授業科目を 30 単位以上習得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位申請論文又は特定の課題についての研究の成果を提出してその審査及び最終試験に合格した者に、学位を授与する。

博士後期課程

各専攻の博士課程に 5 年（修士課程又は博士前期課程に 2 年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における 2 年以上の在学期間を含む。）以上在学し、所定の授業科目を 42 単位以上（修士課程又は博士前期課程を修了した者にあつては、当該課程で習得した 30 単位を含む。）習得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士の学位申請論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に、博士の学位を授与する。

研究科のご案内

▼人文科学研究科

英語英米文学専攻……………P3

日本語日本文学専攻……………P4

コミュニケーション学専攻……………P5

人材養成目的

人文科学の領域に関する理論及び応用を教授研究し、優れた研究能力を持つ研究者、高度に専門的な見識と能力を備えた職業人、多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養を身に付けた社会人を養成する。

▼国際交流研究科

国際交流専攻……………P6

人材養成目的

国際交流の領域に関する理論及び応用を教授し、優れた研究能力を持つ研究者、高度な専門的な見識と能力を備えた職業人、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を超えた総合的知識を身に付けた社会人を養成する。

▼音楽研究科

音楽芸術専攻……………P7

人材養成目的

音楽の領域に関する理論及び実践を教授研究し、高度に専門的な知識・能力・技術を持ち、かつ音楽界を多様に支える素養を兼ね備えた職業人を養成する。

CHECK! 大学院について詳しい情報をWEBでみる

▼各研究科についてはこちら



<https://www.ferris.ac.jp/academics/>

▼大学院要覧はこちら



<https://drive.google.com/file/d/1FpEXdRq74BXGqno1KUWq7PxFt6ruYe/view>

研究科について

人文科学研究科には、「英語英米文学専攻」「日本語日本文学専攻」「コミュニケーション学専攻」の3つの専攻があります。

「英語英米文学専攻」では英米文学とともに英米の文化・社会や英語学について、「日本語日本文学専攻」では日本の文学・文化や日本語・日本語教育について、「コミュニケーション学専攻」では心理・社会・言語・文化の側面からのコミュニケーション問題について、それぞれ多角的に人文科学に関する教育研究を展開しています。

そして大学院生の興味関心に寄り添った指導を重視し、専門的見地から多様化する社会を理解し、社会的貢献のできる研究能力及びその基礎となる豊かな学識を備えた職業人・研究者の育成をめざします。

研究科について

グローバル化に関する研究を中心に、1専攻3研究群（「グローバル化研究」「グローバル化と地域社会」「グローバル化と日本」）方式を採用。

カリキュラムは研究テーマに即した3群から構成され、また各群が相互に補完し合っているため、専門分野の枠を超えた総合的知識を獲得でき、他大学の大学院では得がたい訓練を積むことができます。

こうした研究体制のもと、国際社会に関わる専門的な見識と高い教養を身につけた社会人・職業人・研究者の育成をめざしています。

研究科について

フェリス女学院が建学以来重視してきたキリスト教教会音楽の研究を基礎としつつ、音楽研究科で学ぶ者の将来目標にふさわしい機能的なアプローチで、一人ひとりに明確な方向付けをしています。現代社会の動向を見据えた音楽プロジェクト実践において、それぞれ日本の音楽文化の未来をよりよくするために貢献していきます。

英語英米文学専攻

■ 博士前期課程 ■ 博士後期課程

▶ 専攻紹介

- (1) 英語英米文学専攻では、英語およびイギリス・アメリカを中心とする英語圏の文学作品（小説・演劇・詩・映画・映像）について、歴史・社会・政治・ジェンダー・文化・芸術・宗教など隣接する領域とともに研究します。また、学生の関心にしたがって純文学的な研究も指導・支援します。多様な文学研究に加え、翻訳・翻案の研究や作成など、既存の作品に対する能動的な関わりかたも提案します。
- (2) 北アメリカを中心とする文化史・移民文化など、歴史・社会に関する研究も指導・支援しています。
- (3) 英語学分野では、一般言語学をふまえた日本語・英語の比較など、言葉と文化の関係に焦点をあてた研究、および第二言語習得に関する研究を指導・支援します。

▶ 修了後の進路

博士前期課程修了者は、引き続き後期課程に進み、博士(文学)の学位取得をめざし、英米文学・英語学の各分野での研究を継続することができます。また、前期課程および後期課程の修了者には、大学、高等学校、中学校での英語教育、英語圏の文学・文化に関する教育研究職のほか、英語学および英語圏の文化、歴史に関する知見を用いた多彩なキャリア形成の可能性が開かれています。さらに、研究の場を海外に求め、本専攻での研鑽の後、イギリスなどの英語圏諸国の大学院に留学する修了生もいます。

▶ CHECK

教員、修了者の修士論文題目等の情報は、
本学公式 HP をご覧ください。



<https://www.ferris.ac.jp/academics/graduate-school/humanities/english-literature/>

授業科目一覧 ▶ 博士前期課程

種別	科目名	単位
選択必修Ⅰ	イギリス文学研究 1	2
	イギリス文学研究 2	2
	イギリス文学研究 3	2
	イギリス文学研究 4	2
	イギリス文化研究 1	2
	イギリス文化研究 2	2
	イギリス文化研究 3	2
	イギリス歴史・社会研究	2
	アメリカ文学研究 1	2
	アメリカ文学研究 2	2
	アメリカ文化研究 1	2
	アメリカ文化研究 2	2
	北アメリカ歴史・社会研究 1	2
	北アメリカ歴史・社会研究 2	2
	英語学研究 1	2
英語学研究 2	2	
英語学研究 3	2	
選択必修Ⅱ	イギリス文学演習 1	2
	イギリス文学演習 2	2
	イギリス文学演習 3	2
	イギリス文学演習 4	2
	イギリス文化演習 1	2
	イギリス文化演習 2	2
	イギリス文化演習 3	2
	イギリス歴史・社会演習	2
	アメリカ文学演習 1	2
	アメリカ文学演習 2	2
	アメリカ文化演習 1	2
	アメリカ文化演習 2	2
	北アメリカ歴史・社会演習 1	2
	北アメリカ歴史・社会演習 2	2
	英語学演習 1	2
英語学演習 2	2	
英語学演習 3	2	
英語論文演習 1	2	
英語論文演習 2	2	
選択	アジアの文化とジェンダー	2
	ヨーロッパ現代思想	2
	キリスト教の現代的課題	2
選択必修Ⅲ	修士論文指導	2

修了に必要な単位数

選択必修Ⅰ	4 単位以上	} 30 単位
選択必修Ⅱ	8 単位以上	
選択必修Ⅲ(修士論文指導)	4 単位	
その他	14 単位	

▶ 博士後期課程

科目名・種別			
選択必修Ⅰ	単位	選択必修Ⅱ	単位
イギリス文学特別研究	2	イギリス文学特別演習	2
イギリス文化特別研究	2	イギリス文化特別演習	2
イギリス歴史・社会特別研究	2	イギリス歴史・社会特別演習	2
アメリカ文学特別研究	2	アメリカ文学特別演習	2
アメリカ文化特別研究	2	アメリカ文化特別演習	2
アメリカ歴史・社会特別研究	2	アメリカ歴史・社会特別演習	2
英語学特別研究	2	英語学特別演習	2
選択必修Ⅲ		博士論文指導	4

修了に必要な単位数

選択必修Ⅰ	4 単位	} 12 単位
選択必修Ⅱ	4 単位	
選択必修Ⅲ(博士論文指導)	4 単位	

日本語日本文学専攻

■ 博士前期課程 ■ 博士後期課程

▶ 専攻紹介

- (1) 世界の中の日本文学・日本語学・日本文化を考える立場から、根源的な問題に迫っていくことを目的とします。特に、キリスト教を始めとする外来思想の受容と再生の問題、女性の立場からの文学研究の読み直しに重点を置きます。
- (2) 古典文学研究では、古典籍の翻刻・注釈といった基礎的研究をもとにして、漢字文化圏における文化交流の問題、美術・宗教・政治・歴史の問題にも力を注いで、日本文学・日本文化の特質を考察します。
- (3) 近現代文学研究では、文献資料の精読等の基礎的研究に加えて、キリスト教をはじめとする外来思想の受容、文学理論、フェミニズム文芸批評、比較文学研究等、多岐にわたる関連諸学を視野に入れつつ、日本近現代文学並びに文化の特質を考察します。
- (4) 日本語学では、現代日本語の多様性と文献資料による歴史の実態とを総合し、日本語の将来を視野に入れた言語研究を目指します。

▶ 修了後の進路

博士前期課程の修了者は、後期課程に進んでさらに深く専門知識と研究方法を修め、「博士」の学位取得を目指すことができます。修了生は、教員、出版・マスコミ関係、企業通訳、文芸創作など多様な職業に就いて、社会の中で活躍しています。博士後期課程を修了して「博士」の学位を取得すれば、上記分野の他、専門の研究者としての道も期待できます。

▶ CHECK

教員、修了者の修士論文題目等の情報は、
本学公式 HP をご覧ください。



<https://www.ferris.ac.jp/academics/graduate-school/humanities/japanese-literature/#course>

授業科目一覧 ▶ 博士前期課程

種別	科目名	単位
選択必修Ⅰ	日本文化研究	2
	上代文学研究	2
	中古文学研究	2
	古代文化研究	2
	中世文学研究	2
	近世文学研究	2
	近世文化研究	2
	中近世文化研究	2
	近代文学研究 1	2
	近代文学研究 2	2
	近現代文学研究	2
	近代文化研究	2
	歴史日本語学研究	2
	現代日本語学研究	2
	日本語教育学研究	2
	言語教育学研究	2
	日本語日本文化学研究	2
	漢文学研究	2
	日中比較文化研究	2
	文献研究	2
選択必修Ⅱ	上代文学演習	2
	中古文学演習	2
	中世文学演習	2
	近世文学演習	2
	近世文化演習	2
	近代文学演習 1	2
	近代文学演習 2	2
	近現代文学演習	2
	日本語学演習	2
	現代日本語学演習	2
選択	アジアの文化とジェンダー	2
	ヨーロッパ現代思想	2
	キリスト教の現代的課題	2
選択必修Ⅲ	修士論文指導	2

修了に必要な単位数

選択必修Ⅰ	4 単位以上	} 30 単位
選択必修Ⅱ	8 単位以上	
選択必修Ⅲ(修士論文指導)	4 単位	
その他	14 単位	

▶ 博士後期課程

科目名・種別			
選択必修Ⅰ	単位	選択必修Ⅱ	単位
古代文学特別研究	2	古代文学特別演習	2
中近世文学特別研究	2	中近世文学特別演習	2
近世文化特別研究	2	近世文化特別演習	2
近代文学特別研究	2	近代文学特別演習	2
日本語学特別研究	2	日本語学特別演習	2
日本語教育学特別研究	2	日本語教育学特別演習	2
選択必修Ⅲ		博士論文指導	4

修了に必要な単位数

選択必修Ⅰ	4 単位	} 12 単位
選択必修Ⅱ	4 単位	
選択必修Ⅲ(博士論文指導)	4 単位	

コミュニケーション学専攻

■ 博士前期課程 ■ 博士後期課程

▶ 専攻紹介

(1) 多文化化する日本国内とポストコロニアル化する世界情勢を見据えながら、人間の存在、社会関係、ジェンダー、心理、言語、文化、情報メディアなどについて、次の4領域を足場に、理論的・実証的な研究を行います。

- ① 心理コミュニケーション研究
(対人コミュニケーション、異文化コミュニケーション等に関する調査研究)
- ② 社会コミュニケーション研究
(情報、教育、マイノリティー問題、現代思想等に関する調査研究)
- ③ 言語コミュニケーション研究
(方言学、音声学、社会言語学等に関する調査研究)
- ④ 文化コミュニケーション研究
(身体、メディア文化、ジェンダー、多文化社会等に関する調査研究)

(2) 社会科学的な調査・研究方法の習得を重視し、実習・演習中心の「リサーチメソッド」科目を設置しています。学部において社会調査士の資格を取得している者は、リサーチメソッドの履修により専門社会調査士の資格を得ることができます。

(3) メディア・情報などコミュニケーション関連分野の企業、NPO、行政、研究機関などで、コーディネート、創造、研究できる人材育成を目指します。

▶ 修了後の進路

博士前期課程を修了した者は、専門的見地から関連領域に貢献することが期待されています。過去の実績では、広告会社勤務、団体職員、日本語教師など多彩です。また、博士後期課程を修了した者は、専門家・研究者として貢献することが期待されています。修了生には、大学准教授・講師、民間の研究所職員などがいます。

▶ CHECK

教員、修了者の修士論文題目等の情報は、
本学公式 HP をご覧ください。



<https://www.ferris.ac.jp/academics/graduate-school/humanities/communication/>

授業科目一覧 ▶ 博士前期課程

種別	科目名	単位	
選択必修Ⅰ	心理コミュニケーション研究 1	2	
	心理コミュニケーション研究 2	2	
	社会コミュニケーション研究 1	2	
	社会コミュニケーション研究 2	2	
	社会コミュニケーション研究 3	2	
	言語コミュニケーション研究 1	2	
	言語コミュニケーション研究 2	2	
	言語コミュニケーション研究 3	2	
	文化コミュニケーション研究 1	2	
	文化コミュニケーション研究 2	2	
	文化コミュニケーション研究 3	2	
	文化コミュニケーション研究 4	2	
	北アメリカ歴史・社会研究 1	2	
	北アメリカ歴史・社会研究 2	2	
	英語学研究 1	2	
	英語学研究 2	2	
	歴史日本語学研究	2	
	リサーチメソッド 1	2	
	リサーチメソッド 2	2	
	リサーチメソッド 3	2	
	選択必修Ⅱ	心理コミュニケーション演習 1	2
		心理コミュニケーション演習 2	2
		社会コミュニケーション演習 1	2
		社会コミュニケーション演習 2	2
		社会コミュニケーション演習 3	2
		言語コミュニケーション演習 1	2
		言語コミュニケーション演習 2	2
		言語コミュニケーション演習 3	2
文化コミュニケーション演習 1		2	
文化コミュニケーション演習 2		2	
文化コミュニケーション演習 3		2	
文化コミュニケーション演習 4		2	
北アメリカ歴史・社会演習 1		2	
北アメリカ歴史・社会演習 2		2	
英語学演習 1	2		
英語学演習 2	2		
日本語学演習	2		
選択	アジアの文化とジェンダー	2	
	ヨーロッパ現代思想	2	
	キリスト教の現代的課題	2	
選択必修Ⅲ	修士論文指導	2	

修了に必要な単位数

選択必修Ⅰ	4 単位以上	} 30 単位
選択必修Ⅱ	8 単位以上	
選択必修Ⅲ(修士論文指導)	4 単位	
その他	14 単位	

▶ 博士後期課程

科目名・種別			
選択必修Ⅰ	単位	選択必修Ⅱ	単位
心理コミュニケーション特別研究	2	心理コミュニケーション特別演習	2
社会コミュニケーション特別研究	2	社会コミュニケーション特別演習	2
言語コミュニケーション特別研究	2	言語コミュニケーション特別演習	2
文化コミュニケーション特別研究	2	文化コミュニケーション特別演習	2
選択必修Ⅲ		博士論文指導	4

修了に必要な単位数

選択必修Ⅰ	4 単位	} 12 単位
選択必修Ⅱ	4 単位	
選択必修Ⅲ(博士論文指導)	4 単位	

授業科目一覧 ▶ 博士前期課程

種別	科目名	単位		
第1群 グローバリゼーション研究	グローバリゼーション研究総論	2		
	グローバリゼーションと現代社会	現代社会論	2	
		比較憲法論	2	
		法秩序と現代社会	2	
		情報技術と現代社会	2	
		ジェンダー論	2	
	グローバリゼーションと国際関係	国際政治論	2	
		国際機構論	2	
		国際人権論	2	
		国際平和論	2	
		国際政治経済論	2	
	グローバリゼーションと社会運動	開発経済論	2	
		地球環境論	2	
		環境と持続可能性	2	
		市民運動・NGO・NPO	2	
		国際スポーツ論	2	
		文明間対話の可能性	2	
		キリスト教の現代的課題	2	
	第2群 グローバリゼーションと地域社会	地域社会研究総論	2	
		グローバリゼーションと地域社会	ヨーロッパ地域社会研究	2
北アメリカ歴史・社会研究 1A			2	
北アメリカ歴史・社会研究 2A			2	
ラテンアメリカ地域社会研究			2	
アジア地域社会研究			2	
南アジア地域社会研究			2	
ヨーロッパ社会とキリスト教			2	
開発と地域社会			2	
家族と地域社会			2	
グローバリゼーションと地域文化			2	
グローバリゼーションと地域文化		ヨーロッパ文化論	2	
		ラテンアメリカ文化論	2	
		アジア文化論	2	
		ヨーロッパ現代思想	2	
		ヨーロッパの文化表象	2	
		ヨーロッパの文化とジェンダー	2	
第3群 グローバリゼーションと日本		日本近現代史研究総論	2	
		グローバリゼーションの中の日本	日本歴史文化論	2
			日中関係の歴史と現在	2
	日朝関係の歴史と現在		2	
	欧米の社会科学と日本の社会科学		2	
	日本の近代と横浜		2	
	グローバリゼーションと日本の社会問題	世界の中の日本国憲法	2	
		日本社会とジェンダー	2	
		日本社会と移民	2	
		日本の環境問題	2	
		キリスト教と日本社会	2	
		日本経済の歴史と現在	2	
	国際交流実務研修	文献講読	2	
		言語演習	2	
		国際交流特殊研究	2	
		国際交流実務研修	2	
		自分史の書き方・時代の見方	2	
		グローバリゼーション研究演習	2	
		修士論文指導, 修士レポート指導	2	

修了に必要な単位数

「修士論文」選択者

研究総論	2 単位	} 30 単位
「ジェンダー」関連科目から	2 単位	
指導教授の「グローバリゼーション研究演習」	4 単位	
指導教授が担当する「修士論文指導」	4 単位	
その他	18 単位	

「修士レポート」選択者

研究総論	2 単位	} 30 単位
「ジェンダー」関連科目から	2 単位	
指導教授が担当する「修士レポート指導」	4 単位	
「自分史の書き方・時代の見方」	2 単位	
指導教授の「グローバリゼーション研究演習」	2 単位	
その他	18 単位	

▶ 博士後期課程

種別	科目名	単位
特別研究	グローバリゼーションと現代社会特別研究	2
	グローバリゼーションと国際関係特別研究	2
	グローバリゼーションと社会運動特別研究	2
	グローバリゼーションと地域社会特別研究	2
	グローバリゼーションと地域文化特別研究	2
	グローバリゼーションの中の日本特別研究	2
	グローバリゼーションと日本の社会問題特別研究	2
	国際交流実務研修	2
	グローバリゼーション研究特別演習	2
	博士論文指導	4

修了に必要な単位数

「特別研究」科目	4 単位	} 12 単位
指導教授の「グローバリゼーション研究特別演習」	4 単位	
指導教授または指導教員が担当する「博士論文指導」	4 単位	

▶ 修了後の進路

グローバリゼーションについて、研究方法とその視点を身につけた修了者は、独創性・創造性ならびに優れた判断力を発揮できる人材として、地方自治体や政府機関、NGO・NPO に代表される国際事業関連、企業の国際部門や調査部門など国際社会のさまざまな場面で幅広く活躍しています。

▶ CHECK

教員、修了者の修士論文題目等の情報は、本学公式 HP をご覧ください。

<https://www.ferris.ac.jp/academics/graduate-school/global-and-intercultural-studies/>



音楽芸術専攻

■ 修士課程

▶ 専攻紹介

音楽芸術専攻は、現代のニーズに応える科目をそろえ、より社会を意識した、高度に専門的な音楽人の育成を目的としています。

音楽学部音楽芸術学科カリキュラムの根幹である「音楽で人と社会を結ぶ」をさらに専門化すると同時に、加速する時代の変化をいち早く読める柔軟さの育成を重視。「音楽文化系」「音楽表現系」の2つをカリキュラムの柱とし、それぞれに5つずつ、併せて10の研究/演習科目を設置。異なるコースの学生どうしのコミュニケーションを大切に、「修士研究指導」ではきめ細かいマンツーマンでの専門指導を行います。

なお、音楽芸術専攻の授業料は人文科学研究科と同額におさえられ、経済的負担の軽減がはかられています。また、個人実技レッスン受講を希望する場合は、「PA 個人実技科目」（実技料別納）を1年次から履修できます。

▶ 修士学位審査研究発表・演奏会、最終試験

修士研究を提出した者は、当該年度の所定期間に、最終試験を受けるものとします。最終試験は、研究発表及び口述試験によって行います。



▶ CHECK

教員、選択 PA 科目等の情報は、本学公式 HP をご覧ください。

<https://www.ferris.ac.jp/academics/graduate-school/music/year-2023/>



授業科目一覧

▶ 修士課程

種別	科目名	単位
選択必修Ⅰ	音楽文化研究 1 (音とメディアテクノロジー)	2
	音楽文化研究 2 (サウンドデザイン)	2
	音楽文化研究 3 (音楽ジャーナリズム)	2
	音楽文化研究 4 (ポピュラー音楽)	2
	音楽文化研究 5 (ミュージック・カルチャー&ビジネス)	2
	音楽表現研究 1 (共演コミュニケーション)	2
	音楽表現研究 2 (舞台芸術)	2
	音楽表現研究 3 (作曲編曲)	2
	音楽表現研究 4 (音と映像)	2
	音楽表現研究 5 (音楽教育)	2
選択必修Ⅱ	音楽文化演習 1 (音とメディアテクノロジー)	2
	音楽文化演習 2 (サウンドデザイン)	2
	音楽文化演習 3 (音楽ジャーナリズム)	2
	音楽文化演習 4 (ポピュラー音楽)	2
	音楽文化演習 5 (ミュージック・カルチャー&ビジネス)	2
	音楽表現演習 1 (共演コミュニケーション)	2
	音楽表現演習 2 (舞台芸術)	2
	音楽表現演習 3 (作曲編曲)	2
	音楽表現演習 4 (音と映像)	2
	音楽表現演習 5 (音楽教育)	2
選択	音楽人間環境科学	2
	音楽・音響メディア表現論	2
	音楽教育と先端メディア	2
	音楽の学術研究・情報論	2
	演奏様式研究理論と実践	2
	音楽家のための事業創造論	2
	アーティストのための身体論	2
	教会音楽研究理論と実践	2
選択 PA	実技レッスン	3
	特別実技レッスン	1
選択必修Ⅲ	修士研究指導	2

修了に必要な単位数

選択必修Ⅰ	4 単位	
選択必修Ⅱ	4 単位	
選択必修Ⅲ 「修士研究指導」	4 単位	
その他	18 単位	上記以外の音楽芸術専攻専門科目、他専攻の開放科目及び上記区分ごとの必要数以上に修得した科目の単位
合計	30 単位	

フェリス女学院大学

■緑園キャンパス 人文科学研究科・国際交流研究科

〒245-8650 横浜市泉区緑園 4-5-3

TEL : 045-812-9183 (入試課直通)

■山手キャンパス 音楽研究科

〒231-8651 横浜市中区山手町 37

<https://www.ferris.ac.jp/>

2023年7月作成版